

創立93年の歴史と伝統
県内商業高校ナンバーワンの実力
ビジネス界をリードする人材の育成

深商通信



〒366-0035 深谷市原郷80番地 協力：深谷商業高校同窓会
TEL 048 (571) 3321 URL: <http://www.fukasyo-ch.spec.ed.jp>
FAX 048 (570) 1016 Mail: kyomu_10@fukasyo-ch.spec.ed.jp



深谷商業高校

全商検定一級三種目以上合格者数
3年連続100名超、県内トップ(10年連続)
全国ランキング第34位(平成25年度卒生)

大正ロマンあふれる「二層楼」

建物の魅力と深商の歴史・スピリッツを発信

昨年、同窓生をはじめ多くの関係者の熱い思いに支えられ、大改修により創建当時の萌黄色で蘇った記念館「二層楼」(国登録有形文化財)は、今春、保護者や同窓会の皆様のご支援によって空調設備が設置され、快適な教育環境が整いました。

施設の公開、開放も行っており、地元自治会や同窓生グループ、川越市文化財保護課の方等が見学、視察に訪れております。夜間はライトアップも行っており、昼間とは違った趣のある姿をご覧いただけます。

6月から実施している日曜日の一般公開では、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界文化遺産に登録されたことも追い風となつて、県外から見学に来られる方もいます。県で発行しているガイドブック「埼玉モダンたてもの」に「きまぐれ散歩」にも紹介され、深谷市内の観光コースの一部として定着してきました。

9月初旬には常盤小学校と深谷小学校の5年生の児童が写生会に訪れました。児童たちは、壮麗で迫力のある校舎を目の前にして、観察力に溢れた絵を描いていました。歴史ある貴重な木造建築のよさを、子どもたちにも知ってもらうよい機会になったことと思います。



二層楼を描く常盤小学校の児童たち

二層楼内の展示室には、大正11年に洪沢栄一翁が来校したときに残した揮毫「至誠」「士魂商才」の額があります。また、校史保存室には、昭和46年に春夏連続で甲子園出場を果たしたときの写真や、甲子園出場の原動力となったピッチャーで卒業後、プロ野球大洋ホエールズ(現横浜DeNAベイスターズ)で活躍した竹内広明氏のユニホームも展示してあります。

卒業生には青春の思い出が蘇る場所として、一般の方には県内の県立学校唯一の木造校舎に時代の息吹を感じていただきたい、多くの市民の皆様にご足を運んでいただきたいと思っております。



洪沢栄一翁の揮毫と胸像



竹内広明氏のユニホーム等の展示

二層楼一般公開日等について

公開日 毎週日曜日
公開時間 午前10時~午後3時30分
※予約なしで内部を自由に見学することができます。平日に団体で見学を希望される方は、ご相談ください。
見事に蘇った二層楼の魅力を映像化したDVD(一枚千円)の在庫がまだありますので、ご希望の方はお問い合わせください。(問い合わせ先)深谷商業高校
電話048(571)3321

全国大会連続出場

- 簿記部 29年連続出場
全国高等学校簿記コンクール (法政大学市ヶ谷キャンパス 7月)
コンピュータ部 26年連続出場
全国高等学校情報処理競技会 (千葉・明海大学 7月)
- ビジネス部 10年連続出場
全国高等学校珠算・電卓競技会 (東京・都立千早高校 8月)
- 陸上競技部 惜しくもインターハイ14年連続出場を逃すも、日本ジュニア陸上競技選手権大会連続出場
女子 800m 3年 中村 翔子 (愛知・瑞穂運動公園 10月)



全国高校簿記コンクール



日本ジュニア陸上競技大会

資格取得の強さ

平成25年度の主な資格の取得状況
全国商業高等学校協会主催
簿記実務検定1級 133人
情報処理検定1級 79人
珠算電卓実務検定1級 435人
ワープロ実務検定1級 57人
日本商工会議所簿記検定1級 1人
2級 42人
IPA(経済産業省) 5人
基本情報技術者試験 24人
ITパスポート試験 5人

県統計グラフコンクール 3年連続深商が三賞受賞

第65回埼玉県統計グラフコンクールのパソコン統計グラフ部門で、商業科3年の石川千紗都さんが県知事賞、同3年の馬場拓海君が県教育長賞、会計科3年の妻木みなみさんが県統計協会長賞を受賞し、3年連続本校で三賞を受賞しました。



左から石川さんの作品「熱中症の現状」、馬場さんの作品「コミックマートの広がり」、妻木さんの作品「スマホにはまる人たち」。いずれも全国大会に出品されます。これらは選択科目「文書デザイン」の授業で作成したものです。

全国コンクール入賞

●第53回54回情報処理検定試験ポスター
(全国商業高等学校協会主催)
情報処理科3年の鈴木真由子さんの作品が優良賞に選ばれました。



鈴木真由子さんの作品

次回学校説明会のご案内
12月13日(土)、1月10日(土) いずれも受付9時から本校で。本校ホームページまたは電話で申し込んでください。

スペシャリスト育成
のための学習

●7月23日、本校および渋沢栄一記念館において、未来の渋沢栄一を育成する「彩の国アントレプレナーシッププロジェクト」事業の1日目が行われ、本校生23名が参加しました。渋沢栄一記念館解説員の篠田鼎一郎氏の講演を聴いた後、渋沢栄一記念館や生誕地を見学して渋沢栄一のスピリッツを学びました。そして、夏季休業中の10日間「スキルアップ講座」に精力的に臨みました。



渋沢栄一記念館を見学

●10月23日、1年生を対象に「スペシャリストに学ぶ」講演会が開催され、公認会計士の小島一富士氏から「職業会計人から商業教育を学ぶ高校生へ」と題してお話を聴きました。簿記の重要性や社会で生き抜く力を身につけることを学びました。



スペシャリストに学ぶ



租税教室

●10月30日、全校生を対象に「租税教室」が開催されました。浦和税務署の税務広報広聴官吉川友和氏から、商業高校生にとって必要な税に関する講義を受けました。

●高崎商科大学との連携授業「Aプロジェクト」は、日商簿記1級合格を目指した講座で、昨年度この講座に参加した情報処理科3年の田村弘太君が見事、1級に合格しました。

国際交流事業
国際感覚の育成

オーストラリアの生徒来校
深商は国際感覚の育成として、1990年に国際交流事業をスタートさせました。オーストラリア・オバーニントン校とは1995年に姉妹校提携をし、その交流は20年続いています。昨年は深商生18名がオバーニントン校を訪問しましたので、今年は受け入れする番です。

オバーニントン校の生徒15名は、9月23日に深谷に到着し、29日朝の出発まで生徒宅にホームステイしながら、授業を受けたり日本の歴史・文化に触れる日光ツアーに参加したりしました。オバーニントン校の生徒は、歓迎会での武道のデモンストレーションに感激し、ホームステイ先での日本の食文化や風習に驚いていました。また、部活動にも高い関心を寄せ、生徒がいまいました。深商生にとっても語学研修とともに言葉や文化の壁を超えた心の交流ができました。



日光東照宮にて

小学校との交流事業

深商の生徒たちが常盤小学校へ出向き、パソコン授業のアシスタントや運動指導などを行う交流が、今年も春と秋に行われました。コンピュータによるパソコン授業の支援、陸上競技部による小学校親善運動会に向けた支援、サッカー部による支援が行われました。



パソコン授業の支援

深商学校行事トピックス
深商祭（文化祭）

●深商祭（文化祭）
10月3日校内公開、10月4日一般公開で深商祭が開催されました。食品販売の模擬店が多いですが、人気のファッションショーやパティシエ部のダンス、男装女装コンテストなど趣向を凝らした出し物が見られました。



昇降口の階段アート

体育祭

●体育祭
10月9日、恒例の体育祭が開催されました。保護者が多数見守る中、各クラスオリジナルのシャツを着た生徒の全力で走る姿、クラスの仲間が喜び合い称え合う姿が印象的でした。特に、リレーは手に汗握る好レースで大いに盛り上がりました。



クラス対抗リレーは大接戦



息を合わせてムカデリレー

修学旅行

●修学旅行
10月23日から10月26日まで3泊4日の行程で、2学年が沖繩へ修学旅行に行きました。ひめゆり資料館での平和学習、嘉手納基地を遠望して基地問題を考え、首里城では沖繩の歴史を、国営沖繩公園では自然に触れました。また、リゾートホテルでのゆつたりした過ごし方も体験しました。



首里城にて

インターンシップ事業

1、2年生の希望者を対象に、夏季休業中に職場体験を実施しました。学校独自のインターンシップ事業として3年目、地元の仕事場として協力いただき、50名の生徒が25事業所に分かれて3日間の体験を行いました。参加した生徒は、アルバイトとは異なる体験を通して就業意識を高めることができました。



スーパーでの職場体験

スタントマンを活用した
自転車交通安全教育

7月15日、スケアードストリート教育技法を活用した自転車交通安全教育を実施しました。生徒は、スタントマンによる事故シーンを目の当たりにし、交通安全の意識を高めました。



スタントマンによる実演

P T A 活動

深商では、学校と保護者との連携を大切にしています。PTA活動では、文化祭でのバザーは今年も大盛況でした。春と秋には教職員と街頭に立ち、生徒の登校指導に協力しています。



街頭指導



バザー

産業教育フェア

11月8日、9日、大宮ソニックシティで開催された第24回埼玉県高等学校産業教育フェアにおいて、情報処理科3年の蛭川夏海さんが生徒実践発表会の商業部門に出場し、国際交流事業の体験を英語スピーチで発表しました。コンテスト部門ではドリンクラベルコンテスト、ボケットティッシュデザインコンテストで3名入賞、パソコン入力コンテストで団体3位、個人入賞3名でした。

進路状況

深商は資格取得を就職に生かしているだけでなく、資格を生かした大学進学にも道が開かれています。平成26年3月卒業生は、前年比べて就職希望者が少なかったのですが、学校推薦による内定率は100%でした。保護者向けに学校ホームページで求人情報を提供するなど工夫をしています。大学はほとんどが指定校推薦での合格で、前年とほぼ同じ進学率でした。有名私立大学への進学者が毎年出ます。この年の卒業生は、卒業時に100%進路先が決定しました。今年度は10月末現在、学校推薦による就職内定率は87.4%となっています。

平成26年3月卒業生の進路先

| 進路先 | 人数 | 割合 |
|-------|------|-------|
| 大 学 | 47人 | 17.4% |
| 短 大 | 18人 | 6.7% |
| 専門 学校 | 112人 | 41.5% |
| 深商専攻科 | 2人 | 0.7% |
| 就 職 | 91人 | 33.7% |
| 計 | 270人 | 100% |

（主な進学先）
中央大、東洋大、専修大、日本大、東京国際大、大東文化大、城西大、東京電機大、拓殖大、土館大、高崎商科大